

2020年度 酵素研究助成事業
 酵素の応用研究および生命科学に関連する酵素の研究

(五十音順 敬称略 申請時所属)

| 氏名 | 所属 | 研究課題 |
|--------|--|---|
| 浅野 竜太郎 | 東京農工大学大学院工学研究院 生命機能科学部門 | 酸化還元酵素融合低分子抗体を用いた次世代型電気化学イムノセンサーの開発 |
| 安保 博仁 | 国立大学法人 千葉大学薬学研究院 免疫微生物学 | 腸管における硫酸基転移酵素を介した炎症制御機構の解明 |
| 淡川 孝義 | 東京大学大学院薬学系研究科 天然物化学教室 | 糸状菌P450酸化酵素の反応改変および立体構造解析 |
| 上山 健彦 | 神戸大学バイオシグナル総合研究センター シグナル機能制御研究部門・分子薬理研究分野 | 視覚における活性酸素産生酵素(Nox)の全く新しい機能・生理的意義の解明 |
| 大垣 隆一 | 大阪大学大学院医学系研究科 生体システム薬理学 | 皮膚バリア機能修復療法の提唱に向けた新規膜貫通型因子のリパーゼ活性の実証 |
| 大塩 貴子 | 北海道大学遺伝子病制御研究所 がん制御学分野 | RF経路による隣臓がん形質の促進機構の解明 |
| 岡 拓二 | 崇城大学生物生命学部応用微生物工学科 | 糸状菌より見出された新規な α -マンノシド β -ガラクトフラノース転移酵素の機能解明 |
| 奥村 正樹 | 東北大学学際科学フロンティア研究所 | カルシウムによるPDIファミリー酵素の構造機能制御の理解 |
| 長名 シオン | 東北大学医工学研究科 健康維持増進医工学分野 | ペプチド分解酵素による骨格筋量調節機構の解明 |
| 神吉 康晴 | 東京大学アイソトープ総合センター RI教育研究推進部門 | ヘテロクロマチンによる血管老化制御機構の解明 |
| 北浦 靖之 | 名古屋大学大学院生命農学研究科 応用生命科学専攻 | 分岐鎖アミノ酸分解促進による走運動持久力への影響 |
| 下田 将之 | 慶應義塾大学医学部病理学教室 | 新規ヒアルロン酸分解系を介した炎症・発癌制御機構の解明 |
| 杉森 大助 | 福島大学共生システム理工学類 産業システム工学専攻 | リゾ型血小板因子特異的ホスホリパーゼDの創製と体外臨床診断薬キットへの応用 |
| 炭谷 順一 | 大阪府立大学生命環境科学研究科 応用生命科学専攻 | マルトリオシル配糖体合成酵素における糖転移反応の分子基盤 |
| 高橋 忠伸 | 静岡県立大学大学院薬学研究院 生化学講座 | 流行性耳下腺炎のウイルス酵素阻害剤の探索による抗ウイルス剤および診断薬の開発 |
| 武宮 淳史 | 山口大学大学院創成科学研究科 理学系学域生物学分野 | 青色光受容体フォトリポピナーゼが制御する光シグナル伝達ネットワークの解明 |
| 辰川 英樹 | 名古屋大学大学院創薬科学研究科 細胞生化学分野 | マクロファージの極性化を制御するタンパク質架橋酵素の解析 |
| 田中 元雅 | 理化学研究所脳神経科学研究センター タンパク質構造疾患研究チーム | タンパク質凝集体代謝酵素の構造・機能解析 |
| 谷口 一郎 | 京都大学ウイルス・再生医科学研究所 RNAシステム分野 | RNA-タンパク質複合体の再編成を駆動するRNAヘリカーゼの網羅的同定方法の開発 |
| 東田 裕一 | 九州大学稲盛フロンティア研究センター 先端生命情報研究部門 | メチル化DNA酸化酵素による全能性獲得機構の解明 |
| 出水 庸介 | 国立医薬品食品衛生研究所 有機化学部 | ユビキチン非依存的な標的タンパク質分解誘導剤の開発 |
| 長尾 耕治郎 | 京都大学大学院工学研究科 合成・生物化学専攻 生体認識化学分野 | 温度変化に応答した膜脂質代謝を介するミトコンドリア機能制御機構の解析 |
| 那須野 亮 | 奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科 バイオサイエンス領域ストレス微生物科学研究室 | ニトロ化タンパク質の脱ニトロ化・還元酵素の探索・同定・機能解析 |
| 沼田 倫征 | 九州大学大学院農学研究院 生物機能分子化学講座生物化学分野 | CRISPR-Cas系が誘導する新規DNA転移メカニズムの解明 |
| 林 真理 | 京都大学白眉センター | トポイソメラーゼ3酵素によるM期テロメア脱保護機構の解明 |
| 平田 祐介 | 東北大学大学院薬学研究科 衛生化学分野 | 霊長類特異的TRIMファミリーによるユビキチン修飾制御の生物学的意義の解明 |
| 深瀬 浩一 | 大阪大学大学院理学研究科 化学専攻 | T細胞上のコアフォースを標的とする炎症性腸疾患治療薬候補の検討 |
| 前川 大志 | 愛媛大学プロテオサイエンスセンター 細胞増殖・腫瘍制御部門 | HER2陽性乳癌細胞におけるEGFR/HER2 phosphataseの活性化機構の解明 |
| 的場 康幸 | 安田女子大学薬学部薬学科 物理化学教室 | D-サイクロセリン生合成に関わる金属酵素の活性制御機構に関する研究 |
| 南畑 孝介 | 九州大学大学院工学研究院応用化学部門 分子教室後藤神谷研究室 | 西洋わさび由来ペルオキシダーゼ反応による任意ペプチド抗原を提示可能なタンパク質ポリマーの創製 |
| 三原 久明 | 立命館大学生命科学部生物工学科 応用分子微生物学研究室 | 新奇酵素が担う過酸化タンパク質除去によるバイオフィーム維持のメカニズム |
| 柳田 圭介 | 国立国際医療研究センター研究所 脂質シグナリングプロジェクト | 傍血管線維芽細胞は脳内プロスタグランジン産生の場となるか |